

総務・広報委員会事業計画表

委員長名 鈴木 憲 印

		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
【テーマ】	「情熱」と「想い」を持って、みんなに伝えよう																
【主旨】	総務運営において正確な総会運営と資料の作成、広報運営において効果的な情報発信は、互いにLOM活動の基礎であると考えます。そこで、総会の持つ意義を伝え、メンバーの参画意識向上へ繋がります。また、多様な手法を用いた情報発信をすることにより多くの仲間や地域の方々へ活動内容を伝えます。さらに、LOMの財産でもある多様な資料の整理方法を構築し、有効利用できるようにすることで、体系的かつ一歩踏み出した総務・広報活動を目指します。																
【具体的内容】	<p>(1)総会の設営・運営を行い、議事録を作成します。</p> <p>(2)理事会の議事録を作成します。</p> <p>(3)基本資料・会員名簿を作成します。</p> <p>(4)LOM活動の情報に対し、対外に発信、整理します。</p> <p>(5)対外に向け、双方向型の情報発信を検討します。</p> <p>(6)過去の資料の保存管理の重要性を認識する事で、体系的な整理法を構築し、迅速に情報を活用できる手法を学ぶ場を設けます。</p> <p>【進め方】</p> <p>(1)②(3)委員会にて行います。</p> <p>(4)①JJCの企画、編集、発行を行います。</p> <p>(4)②ホームページの製作、運営を行います。</p> <p>(4)③委員会内で効果的な整理法を検討します。</p> <p>(5)配布物へQRコードを添付し双方向型の情報発信を可能にしたサイトの運営をします。</p> <p>(6)委員会内で企画、実施します。</p> <p>【成果発表の方法と時期】</p> <p>(1)1月・9月定時総会にて行います。</p> <p>(2)毎月の理事会にて行います。</p> <p>(3)基本資料・会員名簿を作成します。</p> <p>(4)①毎月発行します。</p> <p>(4)②随時更新します。</p> <p>(4)③随時対応します。</p> <p>(5)随時対応します。</p> <p>(6)担当例会にて行います。</p>																
例	<p>10月 定時総会準備</p> <p>11月 予定者会議議事録作成</p> <p>12月 効果的な情報発信手法の検討</p>	<p>11月 定時総会</p> <p>12月 理事会議事録作成</p> <p>1月 効果的な情報発信手法の検討</p>	<p>12月 定時総会</p> <p>1月 理事会議事録作成</p> <p>2月 効果的な情報発信手法の検討</p>	<p>1月 定時総会</p> <p>2月 理事会議事録作成</p> <p>3月 効果的な情報発信手法の検討</p>	<p>2月 例会準備</p> <p>3月 担当例会</p>	<p>3月 ASPAC(シンガポール)</p> <p>4月 アロハ大会(鹿角)サマコン(横浜)</p>	<p>4月 定時総会準備</p>	<p>5月 定時総会</p>	<p>6月 定時総会</p>	<p>7月 定時総会</p>	<p>8月 定時総会</p>	<p>9月 定時総会</p>	<p>10月 定時総会</p>	<p>11月 定時総会</p>	<p>12月 定時総会</p>		
主要事業スケジュール																	
委員会スケジュール																	
例	<p>9月 定時総会 青年フォーラム(泉)</p> <p>10月 全国大会(小田原)</p> <p>11月 世界会議(大阪)</p> <p>12月 定時総会議事録作成</p>	<p>10月 定時総会</p> <p>11月 定時総会</p> <p>12月 定時総会</p>	<p>11月 定時総会</p> <p>12月 定時総会</p> <p>1月 定時総会</p>	<p>12月 定時総会</p> <p>1月 定時総会</p> <p>2月 定時総会</p>	<p>1月 定時総会</p> <p>2月 定時総会</p> <p>3月 定時総会</p>	<p>2月 定時総会</p> <p>3月 定時総会</p> <p>4月 定時総会</p>	<p>3月 定時総会</p> <p>4月 定時総会</p> <p>5月 定時総会</p>	<p>4月 定時総会</p> <p>5月 定時総会</p> <p>6月 定時総会</p>	<p>5月 定時総会</p> <p>6月 定時総会</p> <p>7月 定時総会</p>	<p>6月 定時総会</p> <p>7月 定時総会</p> <p>8月 定時総会</p>	<p>7月 定時総会</p> <p>8月 定時総会</p> <p>9月 定時総会</p>	<p>8月 定時総会</p> <p>9月 定時総会</p> <p>10月 定時総会</p>	<p>9月 定時総会</p> <p>10月 定時総会</p> <p>11月 定時総会</p>	<p>10月 定時総会</p> <p>11月 定時総会</p> <p>12月 定時総会</p>			
<p><常任理事コメント></p> <p>武石 純 印</p> <p>今年度は、総務・広報と多岐にわたる作業がもとめられ、その分やらいがある委員会となります。鈴木委員長を中心として委員メンバーが意識を高め正確かつ効果的な総務・広報活動へ向け邁進していただけるものと期待しております。</p>																	

未来ビジョン策定委員会事業計画表

委員長名 志摩 武史 印

		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
【テーマ】 今だからこそ考えよう未来のあきた 今だからこそ指し示そう未来の秋田J C																	
【主旨】 我々は、長年にわたり様々な形で地域のまちづくりに携わってまいりました。しかし時代や環境の変化により、我々に求められる活動や運動も変化し、L O Mとしてさらなる飛躍を目指したビジョンが必要だと考えます。 そこで今後L O Mの展開する事業がより素晴らしいものとなるよう、未来ビジョン策定へ向け邁進します。																	
【具体的内容】 (1)明るい心豊かな社会の実現に向けた、これからのL O Mが目指す未来ビジョンの策定、提言をします。 (2)会員相互の交流を図りL O Mの結束を図ります。 【進め方】 (1)-①過去のL O M事業の検証をします。 (1)-②あきたの現状について勉強する場を設けます。 (1)-③未来ビジョンの検討と策定をし、中間報告の場を設けます。 (1)-④未来ビジョンの提言をします。 (2)多くのメンバーが参加できるように事業を実施します。 【成果発表の方法と時期】 (1)-①委員会にて行います。 (1)-②オープン委員会にて実施します。 (1)-③理事会にて行います。 (1)-④担当例会にて行います。 (2)会員交流事業にて行います。	定時総会 京都会議									ASPAC (シンガ ポール)	アソカ大会 (鹿角) サマコン (横浜)		定時総会 青森アソカ (奥)	全国大会 (小田原)	世界会議 (大阪)		
例 会 担 当														担当例会			
委員会年間スケジュール																	

<常任理事コメント>

武石 純 印

あきたのまちづくりににおいて、確かな方向性を持って活動や運動することが、今後の我々にとって重要な部分と考えます。志摩委員長の企画力、行動力で、L O Mの展開する事業が素晴らしい方向へと進むことを期待します。

報告書の作成

未来ビジョン策定

会員交流事業の実施

企業力向上委員会事業計画表

委員長名 嶋田 誠 印

<p>【テーマ】 地域のリーダーとして共に学び、 活力溢れるあきたを実現しよう</p> <p>【主旨】 100年に一度の不況といわれる昨今、現在もその影響は色濃 く、企業・地域を取り巻く環境は厳しさを増しています。今 こそ我々経済人が、スキルアップし、より強いリーダーシッ プを発揮することで企業力の向上を図り、地域の起爆剤とな らなければなりません。 そこで、個人の資質向上と、地域企業の企業力向上を図り、 明るく、活力溢れるあきたの実現を目指します。</p>	10月	11月	12月														
	主要事業スケジュール				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
例会担当			例会準備			担当例会				ASPAC (シンガ ポール)	プロダ大会 (鹿角 サマコン (機南)		定時総会 青年プログラム (泉)	全国大会 (小田原)	世界会議 (大阪)		
委員会年間スケジュール			企業力向 上事例の 調査				事業の企 画・準備							事業の実 施	事業検証 ・報告書 の作成		

【具体的内容】
 (1)組織のリーダーとして、必要な資質の向上を図ります。
 (2)会員企業を含めた地域企業が、共に企業力を向上する事業を実施し、地域
 活性化を図ります。
 【進め方】
 (1)組織において必要なリーダーシップについて委員会内で検討し、企画・実
 施します。
 (2)①企業力を向上させることにより地域活性化につなげる効果的な手法を
 調査します。
 (2)-②(1)で得たものや(2)-①を踏まえ、会員企業と地域企業の企業力向上を図
 る事業を企画・実施します。
 (2)-③(2)を踏まえて事業を検証します。
 【成果発表の方法と時期】
 (1)担当例会にて行います。
 (2)①委員会にて行います。
 (2)-②事業にて行います。
 (2)-③報告書を作成します。

＜常任理事コメント＞
 加賀屋 久人 印
 現在あきたが置かれている苦しい
 状況を乗り越えるためには、地域企業が
 強くあらねばなりません。嶋田委員長
 を中心に委員会メンバー一丸となつ
 て、この問題に真摯に向き合い、取り
 組むことで、活力溢れるあきた実現に
 つながると確信しています。

人間力開発委員会事業計画表

委員長名 佐々木 創一 印

		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
【テーマ】 「日本の心」を取り戻し 夢あふれるまちあきたを実現しよう																
【主旨】 「感謝」「思いやり」「誠実さ」「もったいない」といった、先人から受け継がれてきた日本人の美徳や伝統的精神が、物質的な豊かさ等と引き換えに、失われかけている様に感じます。そこで、責任世代である我々青年が、日本の心を再認識し、いつの間にか忘れ去られてきた日本人としての品格・精神的な豊かさを次世代へ伝えることで、夢あふれるまちあきたの実現を目指します。																
【具体的内容】 ①新たな人間力開発プログラムを企画・実施・検証します。 ②既存の倫理・道徳教育プログラム「学の夏休み」を実施します。 ③次世代へ伝えるべき日本の心を学び広めます。 ④HANAUTA 倶楽部・TOYP 倶楽部をサポートします。 【進め方】 ①×①委員会内で「(つたえ)」を使ったプログラムを、有識者のご意見をいただきながら企画・作成します。 ①×②LOMメンバーやご協力いただく有識者の方と、内容を検討する場を設けます。 ①×③作成したプログラムを実施します。 ①×④①×③を踏まえ、事業の検証をします。 ②委員会内で「学の夏休み」の研修を行い、青少年育成委員会と連携しながら実施します。 ③①を踏まえ、委員会内で精査し、精神的な豊かさを学ぶ場を企画・設置します。 ④HANAUTA 倶楽部・TOYP 倶楽部の要請を受けて活動します。 【成果発表の方法と時期】 ①×①②③事業とプログラムにて行います。 ①×④報告書を作成します。 ②随時実施します。 ③担当例会にて行います。 ④随時対応します。	定期総会 京都会議	定期総会 京都会議	定期総会 京都会議	定期総会 京都会議	定期総会 京都会議	定期総会 京都会議	定期総会 京都会議	定期総会 京都会議	定期総会 京都会議	定期総会 京都会議	定期総会 京都会議	定期総会 京都会議	定期総会 京都会議	定期総会 京都会議	定期総会 京都会議	定期総会 京都会議
【常任理事コメント】 佐々木委員長率いる人間力開発委員会の取り組みが、我々LOMメンバーを始めとする市民のより豊かな人間力を育み、夢あふれるまちあきたの実現につながると確信します。																
【主要事業スケジュール】																
【例 会 担 当】																
委員会年間スケジュール																

環境行動推進委員会事業計画表

委員長名 菅原 慎次郎 印

<p>【テーマ】 Only One Earth ～育もう環境保全のここ～</p> <p>【主旨】 「エコ」と言う言葉を聞かない日は無いくらい、世界的規模で環境保全運動が注目を集めています。その背景には、地球温暖化・環境汚染・資源の枯渇など早急に対応しなければいけない様々な問題があります。 そこで、あきたに今、必要な環境保全運動を企画・実施する事で、環境の保全とそれを通じて自然を想う心を育くみ、笑顔あふれる輝かしいあきたの実現を目指します。</p>												<p>＜常任理事コメント＞ 渡辺 毅 印</p> <p>第30回を迎えるサケの稚魚放流事業の新たな展開、及び市民・行政と連携し、あきたに「今」必要な環境保全運動の効果的な実践を、行動力あふれる菅原委員長に期待します。</p>
<p>【具体的内容】 (1)これからのあきたの環境保全の為に、環境教育について学べる場を設けます。 (2)青少年と共に環境保全運動を実施する事により、より良い環境とその意識を次世代へと繋ぎ、自然を想う心を育める事業を行ないます。 (3)第30回サケの稚魚放流事業を企画・実施します。前回の記念事業を行なうにあたり、参加者数の増加と参加者の環境保全に対する意識向上を図ります。</p> <p>【進め方】 (1)行政・教育関係者等と共に学べる例会を委員会で企画・検討します。 (2)委員会にて企画・検証し、行政・諸団体と連携して実施します。 (3)委員会にて過去のサケの稚魚放流事業を検証し、新たな展開を企画します。行政・他団体と協力して実施します。</p> <p>【成果発表の方法と時期】 (1)担当例会にて行ないます。 (2)事業にて実施し、検証します。 (3)4月に第30回サケの稚魚放流事業を行ないます。</p>	<p>1月</p> <p>定時総会 京都会議</p>	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
<p>主要事業スケジュール</p>						<p>ASPAC (シンガポール)</p>	<p>アマガサ会 (鹿角) サマコン (横河)</p>			<p>定時総会 青年フォーラム (東)</p>	<p>全国大会 (小田原)</p>	<p>世界会議 (大阪)</p>
<p>例会担当</p>	<p>サケの稚魚放流準備</p>		<p>例会準備</p>	<p>サケの稚魚放流実施 事業準備</p>		<p>担当例会</p>	<p>事業実施</p>		<p>事業検証</p>			

青少年育成委員会事業計画表

委員長名 吉川 伸吾 印

		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
【テーマ】 心と心をつなげよう 小さな会話から大きな絆へ																
【主旨】 少子化や核家族化が進んだことで子供達と近隣住民との関わりが希薄になり、本来子供達にふれあひの中で自然に身に付く常識や協調性が乏しくなっているように感じます。子供ときちんと向き合うためにも親子のコミュニケーションは欠かせません。 そこで親子のコミュニケーションの活性化を図りながら、礼節を重んじる心を学び、社会の一員として自覚や責任を持つてるような社会性のある青少年の育成を目指します。																
【具体的内容】 (1)子育て世代が子供ときちんと向き合い子供の考えを理解する手法を学び、親、大人としての資質向上を目指します。 (2)親子間のコミュニケーションを図りながら礼節を学び、子供の社会との関わりを深めます。 (3)親子で幅広い世代のコミュニケーションを図り、協調性を育みます。 (4)「学の夏休み」プログラムにおいて人間力開発委員会をサポートします。 (5)わんぱく相撲に参加する子供たちを支援します。 【進め方】 (1)子供の考えを理解し、子の自立を促す親のありかたを学ぶ場を委員会で企画・設営します。 (2)①を踏まえ、親子が一緒に参加できる事業を企画・実施します。 (3)②を踏まえ、親子を対象に諸団体と連携し、事業を企画・実施します。 (4)委員会で「学の夏休み」プログラムを研修し、人間力開発委員会をサポートします。 (5)秋田ブロック協議会、学校関係者、相撲連盟関係者と連携し、参加者を支援します。 【成果発表の方法と時期】 (1)担当例会にて行います。 (2)事業Ⅰにて行います。 (3)事業Ⅱにて行います。 (4)随時対応します (5)わんぱく相撲の各大会と壮行会にて行います。																
＜常任理事コメント＞ 渡辺 毅 印 例会及び2回の事業を通じて、親子のコミュニケーション力の向上をテーマに社会性のある子供たちの育成を目指します。吉川委員長の前向きさにより、委員会事業が大成功することを確信します。																
主 要 事 業 ス ケ ジ ュ ー ル					定時総会 京都会議					ASPAC (シンガ ポール)	アパガ大会 (能角 サマコン 横浜)		定時総会 青年アパム (泉)	全国大会 (小田原)	世界会議 (大塚)	
例 会 担 当					例会準備		担当例会									
委員会年間スケジュール						「学の夏 休みの研 修		事業Ⅰ準備 「学の夏休 み」のサポ ート		わんぱく 相撲秋田 ブロック 大会	事業Ⅱ準備		事業Ⅰ 検証	事業Ⅱ	事業Ⅱ 検証	

世世代間協働推進委員会事業計画表

委員長名 伊藤 久嗣 印

<p>【テーマ】 世代を超えて協働しよう 三愛精神で「心豊かなまちあきた」の実現を目指して</p>	<p>【具体的内容】 (1)これまでの世世代間協働事業の趣旨を継承し、幅広い世代の市民と協働して、三愛精神を育める事業を展開します。</p> <p>【進め方】 (1)①世世代間協働事業の趣旨を委員会メンバーで再度学んだ上で、事業趣旨をLOMメンバーへ配信します。 (1)②委員会内で、幅広い世代が参加でき、三愛精神を育める世世代間協働事業を企画・検討し、実施します。 【成果発表の方法と時期】 (1)①勉強会実施・報告書を作成し、LOMメンバーへ配布します。 (1)②例会・事業にて行います。</p>												<p><常任理事コメント> _____ 田口 正人 印</p>
<p>【主旨】 近年我々の暮らすあきたでは、若年人口の減少、核家族の増加、生活様式の変化に伴い、家族関係や地域コミュニティが希薄になりつつあります。 世代を超え、時間と体験を共有し、三愛精神（ふれ愛・認め愛・助け愛）を育むことが家族関係、地域コミュニティ再生の糸口になると考えます。 今年で4年目を向える世世代間協働事業を今まで以上に、幅広い方々に理解・参加していただくことで、「心豊かなまちあきた」の実現を目指します。</p>	<p>10月</p>	<p>11月</p>	<p>12月</p>	<p>10月</p>	<p>11月</p>	<p>12月</p>	<p>10月</p>	<p>11月</p>	<p>12月</p>	<p>11月</p>	<p>12月</p>		
<p>主要事業スケジュール</p>	<p>定時総会 京都会議</p>	<p>ASPAC (シンガポール)</p>	<p>例会準備</p>	<p>7月の大会 (徳角) サマコン (横河)</p>	<p>定時総会 青年フェス (泉)</p>	<p>全国大会 (小田原)</p>	<p>世界会議 (大阪)</p>	<p>担当例会</p>	<p>事業実施</p>	<p>事業検証</p>	<p>事業検証</p>	<p>事業検証</p>	
<p>委員会担当</p>	<p>報告書作成 事業の企画検討</p>	<p>事業準備</p>	<p>報告書作成 事業の企画検討</p>	<p>報告書作成 事業の企画検討</p>	<p>報告書作成 事業の企画検討</p>	<p>報告書作成 事業の企画検討</p>	<p>報告書作成 事業の企画検討</p>	<p>報告書作成 事業の企画検討</p>	<p>報告書作成 事業の企画検討</p>	<p>報告書作成 事業の企画検討</p>	<p>報告書作成 事業の企画検討</p>	<p>報告書作成 事業の企画検討</p>	
<p>委員会年間スケジュール</p>	<p>世世代間事業勉強会</p>	<p>世世代間事業勉強会</p>	<p>世世代間事業勉強会</p>	<p>世世代間事業勉強会</p>	<p>世世代間事業勉強会</p>	<p>世世代間事業勉強会</p>	<p>世世代間事業勉強会</p>	<p>世世代間事業勉強会</p>	<p>世世代間事業勉強会</p>	<p>世世代間事業勉強会</p>	<p>世世代間事業勉強会</p>	<p>世世代間事業勉強会</p>	

地域連携推進委員会事業計画表

委員長名 中泉 俊幸 印

		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
【テーマ】	市民と共に魅力溢れる地域を目指して															
【主旨】	多くの経済指標が全国最下位を示し、また、急激な人口減少などで、あきたは活力を失いつつあります。要因は様々ですが、行政・諸団体・市民の連携が十分に機能しておらず、この難局に対して一体となって取組めたいことも一因であると考えます。そこで、行政・諸団体・市民が結束して取組める、新たなうねりを起こし、あきたを活性化させ、魅力溢れる地域を目指す必要があると考えます。															
主要事業スケジュール					定時総会 京都会議					ASPAC (シンガポール)	アソカ大会 (鹿角) サマコン (横濱)		定時総会 青年フォーラム (県)	全国大会 (小田原)	世界会議 (大阪)	
担当例会			例会 準備			↑ 担当 例会										
委員会年間スケジュール	事業の調査、検討				行政、諸団体、市民と 事業の意 見交換会 及び企画		↑	事業準備					事業実施	事業検証		
<p>＜常任理事コメント＞</p> <p>行政・諸団体・市民が一体となって取組める、あきたを活性化させることのできる新たなうねりを起こすために、中泉委員長をはじめとする委員会メンバーが一丸となって邁進することを期待します。</p>																